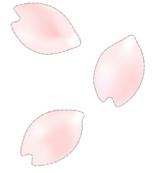




春のワルツ

作詞/作曲 黒田リオ

頬にふれる 髪を遊ぶ 春の澄んだ空気
淡いピンク 空に映る 特別な季節よ



花は開き 人を癒し そして散りゆくもの
その優雅さとその儚さに 気づかされる強さ

どんなに悲しくても 涙止まらなくても
季節はめぐり流れ 花は咲く



さあ 今 喜びながら歩きだそう
そう生きよう 心を満たしてゆく



寒さに震えても ああ きっと

花は開き 人を癒し そして散りゆくもの
その優雅さと その儚さに 気づかされる強さ

2021年、コロナ真っ只中の春、人々は不安の中にもながらも木々たちは何も動じないといった様子で、ただ自分の仕事をする。春になれば蕾を膨らませ、花は開き、なお人を癒し、そして散る。その姿に我の、人間の弱さを知り、そしてどうあるべきかを学んだ気がした。どんな時も凛として淡々と生きる様に勇気をもらいました。そして書き留めたのがこの歌詞です。

メロディーは2022年の秋、RIOHANAツアーに向けて作曲。ギターやウクレレ伴奏でも歌ってきましたが、CD収録には納谷嘉彦さんのピアノと決めていました。納谷さんの繊細なタッチは、私のイメージ通りの世界を表現してくださいました。

アルバム「春のワルツ」1曲目に収録。

